



## Cisco Intersight に管理されたモード ファブリック インターコネクト管理ガイド

最終更新：2024 年 9 月 17 日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター  
0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（ [www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) ）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2023 –2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## 通信、サービス、偏向のない言語、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#)にアクセスしてください。
- サービスリクエストを送信するには、[Cisco Support](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

### マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

### Cisco バグ検索ツール

[Cisco Bug Search Tool](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理する Cisco バグ追跡システムへのゲートウェイとして機能する、Web ベースのツールです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

### 偏向のない言語

この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナルリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザーインターフェ

イスにハードコードされている言語、基準ドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。



# 第 1 章

## デバイス コンソール

---

• [デバイス コンソール \(1 ページ\)](#)

### デバイス コンソール

#### 概要

デバイス コンソールは、Intersight マネージドモードファブリック インターコネクで実行されるアプリケーションです。

ファブリック インターコネクのモデル、シリアル番号、ファームウェア バージョンなどのシステム情報を提供します。これにより、デバイスコネクタを構成できます。サーバー、シャーシ、およびファブリックエクステンダのインベントリの詳細が表示されます。診断情報を含むテクニカル サポート バンドルを生成して、問題のトラブルシューティングと分析を行うことができます。さらに、サーバーの電源および LED 操作を実行できます。

#### デバイス コンソールへのアクセス

デバイス コンソールのユーザ インターフェイスにアクセスするには、管理 IP アドレスもしくは、使用可能ならば DNS ホスト名を使用してファブリックインターコネクにログインします。デバイス コンソール UI にアクセスするには、管理者権限が必要です。





## 第 2 章

# システム情報

---

- [デバイス コンソール ユーザー インターフェイス \(3 ページ\)](#)

## デバイス コンソール ユーザー インターフェイス

デバイス コンソール UI は、次の主要要素で構成されています。

- 4つのタブを含む中央のペイン：システム情報、デバイスコネクタ、インベントリ、および診断データ。
- ヘルプメニューとログアウト ボタンを含むトップナビゲーションメニュー。



DEVICE CONSOLE

IMM-DEV-GG24

SYSTEM INFORMATION

DEVICE CONNECTOR

INVENTORY

DIAG

## Fabric Interconnect A (Primary)

Management IPs

Model

Serial

Firmware Version

Available Memory

Total Memory

## システム情報

[システム情報 (System Information) ] タブには、ファブリック インターコネクト プロパティの概要、メモリ サイズ、ファームウェア バージョンなどを含むファブリック インターコネクトの詳細が表示されます。

詳細	説明
管理IP	Cisco UCS 管理 IP アドレスを表示します。
Model	Cisco UCS ファブリック インターコネクト シリーズのモデルを表示します。
シリアル	サーバのホスト ID/シリアル番号を表示します。
ファームウェアバージョン	ファブリック インターコネクト上で動作している現在のファームウェアバージョンを表示します。
使用可能メモリ	使用可能なメモリを表示します。

詳細	説明
メモリ合計	割り当てられたメモリの合計を表示します。





## 第 3 章

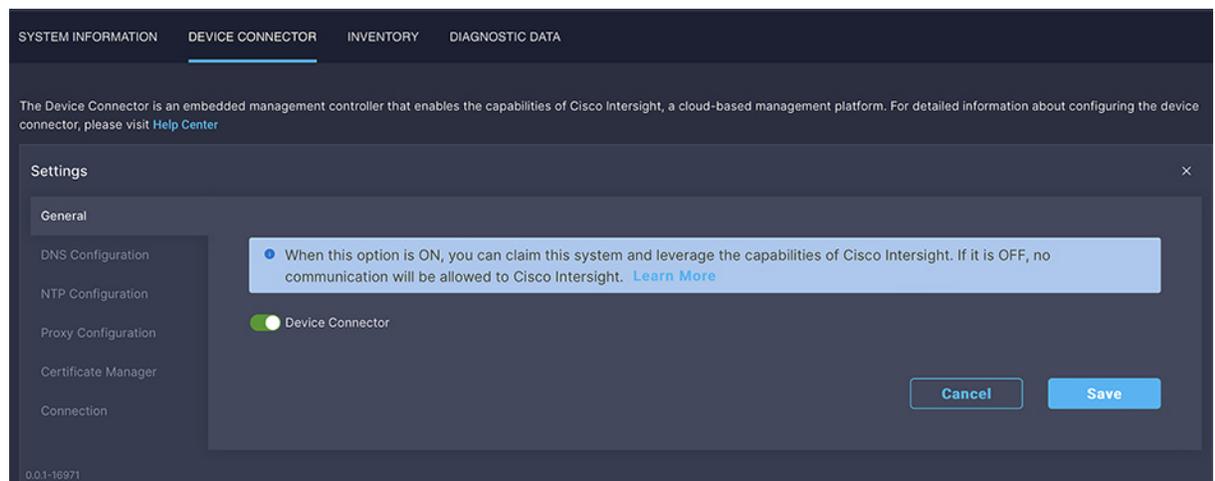
# デバイス コネクタ

- [デバイス コネクタ \(7 ページ\)](#)

## デバイス コネクタ

デバイス コネクタは、Cisco Intersightの機能を実現する組み込み管理コントローラです。デバイス コネクタ タブには、Intersight でのデバイス コネクタの接続の詳細が表示されます。

[設定 (Settings) ] からデバイス コネクタのパラメータを設定することもできます。



プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
[デバイス コネクタ (Device Connector) ]	<p>は、次の内容をグラフィカルに表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイス コネクタ、インターネット、Intersight 間の接続ステータス</li> <li>• デバイス コネクタのアクセス モード</li> <li>• デバイスの要求ステータス。</li> </ul>

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
[設定 (Settings)]	

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
	<p>次のデバイスコネクタ設定を構成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[全般 (General)]</b> : Intersight の管理を有効または無効にできます。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[オン (On)]</b> : Cisco Intersight による管理を有効にします。このシステムに対し要求を行って、Cisco Intersight の機能を活用できます。</li> <li>• <b>[オフ (Off)]</b> : Cisco Intersight による管理を無効にします。Cisco Intersight への通信は許可されません。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[アクセスモード (Access Mode)]</b> : <b>[読み取り専用 (Read-only)]</b> または <b>[コントロールを許可 (Allow Control)]</b> として、アクセスを構成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[読み取り専用 (Read-only)]</b> : このアクセスモードを選択すると、Intersight を使用してデバイスを構成できなくなります。</li> <li>• <b>[コントロールを許可 (Allow Control)]</b> : このアクセスモードを選択すると、Intersight を使用してデバイスの構成を完全に制御できます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[DNS 構成 (DNS Configuration)]</b> — ドメイン名設定 (完全修飾ドメイン名) および DNS サーバー設定 (IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名) を構成できます。</li> <li>• <b>[NTP 構成 (NTP Configuration)]</b> — NTP 設定の構成を許可します。(IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名)</li> </ul> <p>(注) デバイスコンソールの DNS および NTP 構成への変更は一時的なものであり、診断または回復を目的としています。デバイスコンソールの設定に対する永続的な変更は、ファブリックインターコネク</p>

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
	<p>トに展開されたドメインプロファイルを紹介して行う必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[プロキシ設定 (Proxy Configuration)]</b> : HTTPS プロキシ設定を無効にするか、または手動で構成するかを選択できます。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[オフ (Off)]</b> : HTTPS プロキシ設定の構成を無効にするには、このオプションを選択します。 これが、デフォルトのHTTPSプロキシ設定です。</li> <li>• <b>[オン (On)]</b> : HTTPS プロキシ設定の構成を有効にするには、このオプションを選択します。</li> <li>• <b>[プロキシ ホスト名/IP (ProxyHostname/IP)]</b> : プロキシのホスト名または IP アドレスを入力します。</li> <li>• <b>[プロキシ ポート (Proxy Port)]</b> : プロキシのポート番号を入力します。</li> <li>• <b>[認証 (Authentication)]</b> : プロキシサーバへのアクセスを認証する場合には、このオプションを有効にします。アクセスを認証するための [ユーザ名 (Username)] および [パスワード (Password)] を入力します。</li> </ul> </li> </ul> <p>(注) Intersight 管理対象モードのファブリックインターコネクタに対してプロキシ認証が有効になりました。この機能により、ファブリックインターコネクタ デバイス コネクタは、設定されたプロキシサーバでパスワードベースの認証タイプを介して認証できます。</p>

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイスコネクタには必須のログインクレデンシャルのフォーマットはないので、入力したクレデンシャルがそのまま構成済み HTTP プロキシサーバに渡されず。ユーザ名をドメイン名で限定する必要があるかどうかは、HTTP プロキシサーバの構成によって異なります。</li> <li>• <b>[証明書マネージャ (Certificate Manager)]</b> : 信頼できる証明書のリストを表示し、有効で信頼できる証明書をインポートできます。</li> <li>• <b>[接続 (Connection)]</b> — デバイスコネクタとインターサイト間の接続チェックの結果を表示します。</li> </ul> <p>デバイスコネクタの構成とトラブルシューティングの詳細については、<a href="#">[デバイスコネクタの構成 (Configuring Device Connector)]</a> を参照してください。</p>
[デバイス ID (Device ID)]	デバイス固有のシリアル番号。
[アカウントに対する要求 (Claimed to Account)]	デバイスを要求した Intersight ユーザの ID。
[要求解除 (Unclaim)]	<p>要求済みのデバイスの要求を解除します。</p> <p>(注) デバイスコネクタの要求解除オプションは、ターゲットが最初に要求されたアカウントにアクセスできない場合か、または Intersight への接続が切断され、ターゲットをエンドポイントからローカルに要求解除する場合にのみ使用してください。ターゲットの要求解除の詳細については、<a href="#">[ターゲットの要求解除 (Unclaim Target)]</a> を参照してください。</p>



## 第 4 章

# インベントリ

---

・ [インベントリ \(13 ページ\)](#)

## インベントリ

[**インベントリ (Inventory)**] タブには、**Servers**、**Chassis**、およびファブリック エクステンダの3つのサブタブがあり、サーバー、シャーシ、およびファブリック エクステンダの詳細なインベントリの詳細を提供します。さらに、これらのサブタブには、**API Explorer** を起動して、サーバーの電源再投入や BIOS トークンの取得などの Redfish™ ベースの操作を実行する機能も含まれています。

## サーバ (Servers)

[**サーバ (Servers)**] サブタブには、ファブリック インターコネクトを介して接続されているすべてのサーバに関する詳細情報が表示されます。この情報は、ファブリック インターコネクトのローカル データベースに保存されているデータに基づいています。

The screenshot shows the Cisco Device Console interface for server IMM-DEV-GG24. The main navigation bar includes 'SYSTEM INFORMATION', 'DEVICE CONNECTOR', 'INVENTORY', and 'DIAGNOSTICS'. The 'INVENTORY' tab is selected, and within it, the 'Servers' sub-tab is active. A table displays the server details:

Name	Status
 IMM-DEV-GG24-1	 Active

詳細	説明
名前	サーバの名前が表示されます。
ステータス	<p>サーバのライフサイクルの状態が表示されます。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし — サーバーが再稼働したが、検出がまだ開始されていない場合。</li> <li>現用系 — サーバーが検出されたとき。</li> <li>デコミッション — サーバが Cisco UCS 構成から削除されたとき。ただし、サーバのハードウェアは Cisco UCS インスタンスに物理的に残っています。</li> <li>DiscoveryFailed — サーバーの検出が機能不全になった場合。</li> <li>SlotMismatch — ブレードサーバの構成が正しくなく、スロットでサーバーの再検出が必要な場合。</li> </ul>
PID	サーバの PID を表示します。

詳細	説明
シリアル	サーバのホスト ID/シリアル番号を表示します。
ユーザラベル	シリアル番号、PID、およびVIDが含まれているユーザラベルを表示します。このシリアル番号は、サーバの管理ソフトウェアに表示されます。

このサブタブでは、次のサーバーアクションを実行できます。

- 電源オン/オフ
- KVMの起動
- APIエクスプローラの起動
- テクニカルサポートバンドルの生成



(注) 結果として得られる techsupport バンドルは、**[診断データ (Diagnostic Data)]** タブからダウンロードできます。

#### API Explorer からの Redfish™ ベースのサーバー操作の実行

##### [Redfish™ ベースのサーバー操作 - 例 (Redfish™ Based Server Operations - Examples)]

Redfish™ ベースのサーバー操作と例の概要については、<https://intersight.com/apidocs/introduction/overview/> を参照してください。

##### [APIエクスプローラの起動 (Launching the API Explorer)]

API Explorer から Redfish™ ベースのサーバー操作を実行するには、次の手順を実行します。

1. **[サーバ (Servers)]** テーブルビューで、サーバーを選択し、省略記号 (...) をクリックします。
2. 省略記号 (...) から、**[APIエクスプローラの起動 (Launch API Explorer)]** を選択します。

## シャーシ

[シャーシ (Chassis)] サブタブには、ファブリック インターコネクトを介して接続されたすべてのシャーシに関する詳細情報が表示されます。

Name	ID	Status	Model	Serial
g23-26-1	chassis-1	Active	N20-C6508	FOX1548H6PY

詳細	説明
名前	シャーシの名前を表示します。
ID	シャーシの一意の識別子を表示します。
ステータス	シャーシ内のステータスが表示されます。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現用系 — シャーシが検出されたとき。</li> <li>• デコミッション — シャーシが物理的に存在し、接続されている時、しかし、Cisco UCS 構成から一時的に削除されている場合。</li> <li>• DiscoveryFailed — シャーシの検出が機能不全になった場合。</li> </ul>
Model	シャーシのモデルを表示します。
シリアル	シャーシのホスト 識別子/シリアル番号を表示します。

このサブタブでは、次のシャーシ操作を実行できます：

- APIエクスプローラ(IOM 1)の起動
- APIエクスプローラ(IOM 2)の起動
- テクニカルサポートバンドルの生成

### API Explorer からの Redfish™ ベースのシャーシ操作の実行

#### [Redfish™ ベースのシャーシ操作 - 例 (Redfish™ Based Chassis Operations - Examples) ]

Redfish™ ベースのシャーシ操作と例の概要については、<https://intersight.com/apidocs/introduction/overview/> を参照してください。

#### [APIエクスプローラの起動 (Launching the API Explorer) ]

API Explorer から Redfish™ ベースのシャーシ操作を実行するには、次の手順を実行します。

1. [シャーシ (Chassis)] テーブルビューでシャーシを選択し、省略記号 (...) をクリックします。
2. 省略記号 (...) から、[API エクスプローラーの起動 (Launch API Explorer)] を選択します。

## ファブリック エクステンダ

[ファブリック エクステンダ (Fabric Extender)] サブタブには、Fabric Interconnect を介して接続されたすべての Fabric Extender (FEX) に関する詳細情報が表示されます。

The screenshot shows the 'Fabric Extender' sub-tab in the 'INVENTORY' section. It displays a table with the following data:

Name	Identifier	Lifecycle	Model	Serial	Description
FEX 4	fex-4	Online	N2K-C2232PP-10GE	SSI153400Q8	FEX0004

詳細	説明
名前	FEX の名前を表示します。
識別子	FEX の一意の識別子を表示します。
ライフサイクル	FEX ライフサイクルの現在の状態を表示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オンライン — FEX が接続されている場合。</li> <li>• デコミッション — FEX が物理的に存在し、接続されている時、しかし、Cisco UCS 構成から一時的に削除されている場合。</li> <li>• 未請求 — FEX が Intersight アカウントに請求されていない場合。</li> <li>• ディスカバリの機能不全 — FEX のディスカバリが機能不全した場合。</li> </ul>
Model	FEX モデルを表示します。
シリアル	FEX のホスト 識別子/シリアル番号を表示します。
説明	FEX の説明があれば表示します。





## 第 5 章

# 収集

- [収集 \(19 ページ\)](#)

## 収集

[**診断データ (Diagnostic Data)**] タブから、サーバー、シャーシ、およびファブリック インターコネクットの診断データを収集して、トラブルシューティングと詳細な分析を行うことができます。

Date/Time	Name	Oper State	Bundle Type	Reason	Size
Jun 27, 2022 3:30 PM	20220627153012_g23-26_...	Partially Available	Server	Error: Failed to collect adapt...	23.28 MiB
Jun 2, 2022 8:55 AM	Alaska-13_20220602032502	Available	Server	-	12.77 MiB
May 27, 2022 5:44 AM	Alaska-100_20220527001404	Failed	Server	Failed to get Server IP addr...	0 bytes
May 27, 2022 3:30 AM	Alaska-15_20220526220043	Failed	Server	Failed to get Server IP addr...	0 bytes
May 27, 2022 2:58 AM	Alaska-8_20220526180828	Failed	Server	Failed to get Server IP addr...	0 bytes
May 26, 2022 11:38 PM	Alaska_20220526180828	Available	Fabric Interconnect	-	370.61 MiB
May 19, 2022 10:42 AM	Alaska-99_20220518221216	Available	Server	-	13.30 MiB
May 19, 2022 10:34 AM	Alaska-156_20220518220402	Available	Server	-	15.02 MiB
May 19, 2022 10:28 AM	Alaska-152_20220518215817	Available	Server	-	14.62 MiB
May 19, 2022 10:23 AM	Alaska-69_20220518215302	Available	Server	-	9.44 MiB

次のテクニカル サポート バンドルを生成できます。

- シャーシ—IOM を含む特定のシャーシのテクニカル サポート データが含まれています。

- サーバー — すべてのアダプターを含むブレードおよびラック サーバーのテクニカル サポート データが含まれています。ブレードサーバーの場合、IOM のテクニカルサポート データが収集されます。ブレードサーバーの場合、IOM のテクニカルサポート データが収集されます。
- ファブリック インターコネクト：ファブリック インターコネクトのテクニカルサポート データが含まれています。データは、ピアまたはローカル ファブリック インターコネクトのいずれかです。

### [テクニカル サポート バンドルの生成とダウンロード (Generating and Downloading Tech Support Bundles) ]

テクニカル サポート バンドルを生成してダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. [診断データ (Diagnostic Data) ] タブで、画面右側の 診断データ テーブル ビューの上にある [テクニカル サポート バンドルの生成 (Generate Tech Support Bundle) ] をクリックします。
2. [テクニカル サポート バンドルの生成 (Generate Tech Support Bundle) ] ダイアログ ボックスで、[シャーシ (Chassis) ]、[サーバー (Server) ]、または[ファブリック インターコネクト (Fabric Interconnect) ]のいずれかを選択して、関連するテクニカルサポートバンドルを生成します。
  - [シャーシ (Chassis) ] — [シャーシ (Chassis) ] ドロップダウンから、テクニカル サポート バンドルを生成する必要があるシャーシを選択します。[生成 (Generate) ] をクリックします。[診断データ (Diagnostic Data) ] テーブル ビューで、テクニカル サポート バンドル生成の進行状況を確認できます。生成が完了すると、**Oper State** の下のステータスが [利用可能 (Available) ] と表示されます。シャーシの関連する行で、省略記号 (...) から、[ダウンロード (Download) ] をクリックしてダウンロードを開始します。この操作を完了するには、数分かかる場合があります。ダウンロードしたファイルは、デフォルトのダウンロード場所に保存されます。
  - [サーバー (Server) ] : [サーバー (Server) ] ドロップダウンから、テクニカル サポート バンドルを生成する必要があるサーバーを選択します。[生成 (Generate) ] をクリックします。[診断データ (Diagnostic Data) ] テーブル ビューで、テクニカル サポート バンドル生成の進行状況を確認できます。生成が完了すると、**Oper State** の下のステータスが [利用可能 (Available) ] と表示されます。サーバーの関連する行で、省略記号 (...) から、[ダウンロード (Download) ] をクリックしてダウンロードを開始します。この操作を完了するには、数分かかる場合があります。ダウンロードしたファイルは、デフォルトのダウンロード場所に保存されます。
  - [ファブリック インターコネクト (Fabric Interconnect) ] : テクニカル サポート バンドルを生成するために、[ローカル スイッチ (Local Switch) ] または [ローカル ピア スイッチ (Local Peer Switches) ] のいずれかを選択できます。[生成 (Generate) ] をクリックします。[診断データ (Diagnostic Data) ] テーブル ビューで、テクニカル サポート バンドル生成の進行状況を確認できます。生成が完了すると、**Oper State** の下のステータスが [利用可能 (Available) ] と表示されます。ファブリック インターコネクトの関連する行で、省略記号 (...) から、[ダウンロード (Download) ] をクリック

してダウンロードを開始します。この操作を完了するには、数分かかる場合があります。ダウンロードしたファイルは、デフォルトのダウンロード場所に保存されます。





## 第 6 章

# デバイス コンソール CLI

- [デバイス コンソール CLI \(23 ページ\)](#)

## デバイス コンソール CLI

デバイスをトラブルシューティングする場合、またはデバイスが Cisco Intersight に接続されていない場合は、デバイス コンソール CLI インターフェイスを使用できます。使用できるコマンドは次のとおりです：

### デバイス コネクタ

デバイスコネクタで次の操作を実行できます。

- デバイスコネクタへの接続：Intersight CLI シェルを介してデバイスコネクタに接続するには、**connect device-connector** コマンドを使用します。

#### **connect device-connector**

- デバイスコネクタのバージョンの表示：デバイスコネクタのバージョンを表示するには、**show version** コマンドを使用します。

#### **show version**

- デバイスコネクタの更新：ファブリックインターコネクタ B のデバイスコネクタイメージを更新してから、**update-device-connector** コマンドを使用して、ファブリックインターコネクタ A を更新します。



(注) 顧客は画像にアクセスできません。この操作は、TAC が回復の目的で使用します。

```
update-device-connector workspace:/ | volatile:/ filename
```

### システム情報

次の操作を実行して、システム情報を表示できます。

- システム クロックの表示：システムの日付と時刻を表示するには、**show clock** コマンドを使用します。

**show clock**



(注) FI で時刻を設定するには、NTP が必要です。NTP は、デバイス コンソールおよびドメイン プロファイルの NTP ポリシーで設定する必要があります。

- CLI 履歴の表示：セッションで実行した CLI コマンドの履歴を表示するには、**show cli history** コマンドを使用します。

**show cli history**

- SSH キーの表示：ホストの SSH 公開キーのリストを表示するには、**show sshkey** コマンドを使用します。

**show sshkey**

- IP デバッグ情報の表示：管理名前空間とデフォルト名前空間の両方の IP アドレスとインターフェイスを表示するには、**show mgmt-ip-debug** コマンドを使用します。

**show mgmt-ip-debug**

- IP テーブル情報の表示：管理名前空間とデフォルト名前空間の両方の IP テーブルエントリを表示するには、**show mgmt-ip-tables** コマンドを使用します。

**show mgmt-ip-tables**

- ファイルの内容の表示：ファイルの内容を表示するには、**show file** コマンドを使用します。

**show file file-path**

- プロセスの表示：現在実行中のすべてのプロセスのリストを表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

**show processes**

- 監査ログの表示：ファブリックインターコネクトの監査ログを表示するには、**show audit** コマンドを使用します。

**show audit**

## サーバ

サーバでは、次の操作を実行できます。

- IOM/IFM モジュールへの接続 — IO モジュールもしくは、インテリジェント ファブリック モジュールに接続するには、**connect iom** コマンドを使用します。

**connect iom chassis-id**



(注) このコマンドは、Cisco UCS X シリーズ ダイレクトのシャーシには適用されません。

- CIMC への接続 : CIMC (シスコ統合管理コントローラ、Cisco Integrated Management Controller) へ接続するには、**connect cimc** コマンドを使用します。

```
connect cimc chassis-id/blade-id | rack-id
```

Cisco UCS X シリーズ ダイレクトの場合、

```
connect cimc chassis-id/blade-id
```



(注) メモリ カウンタは、reset memory error コマンドを使用してクリアできます。

```
reset_all_memory_errors
```

- アダプタへの接続 : アダプタに接続するには、**connect adapter** コマンドを使用します。このコマンドを使用して、B シリーズ、C シリーズ、および X シリーズ サーバーのアダプタに接続できます。

B シリーズ/X シリーズ サーバーの場合:

```
connect adapter chassis-id/blade-id/adapter-id
```

C シリーズ サーバ:

```
connect adapter rack-id/adapter-id
```

#### 構文の説明

*chassis-id* シャーシ ID 番号。

*blade-id* ブレード ID 番号

*rack-id* ラック ID 番号

*adapter\_id* アダプタ ID 番号

- B シリーズ サーバーの CIMC のアップグレード : B シリーズ サーバーの Cisco Integrated Management Controller (CIMC) をアップグレードするには、次のコマンドを使用します。

```
upgrade-equipment cimc -- type blade -- chassisid x -- slotid y --imagepath /bootflash/intersight-cache/*/ucs-intersight-server-xxx.y.y.yy.bin
```

- B シリーズ サーバーの BIOS のアップグレード : B シリーズ サーバーの BIOS をアップグレードするには、次のコマンドを使用します。

```
upgrade-equipment bios -- type blade -- chassisid x -- slotid y --imagepath
/bootflash/intersight-cache/*/*/ucs-intersight-server-xxxx.y.y.yy.bin
```

## PMON プロセス

PMON (プロセス モニター) プロセスには、**[mgmt プラグイン (mgmt plugin)]** に関連付けられたすべての内部プロセスが含まれます。PMON プロセスは、FI の回復/トラブルシューティング中にプロセスを再起動するのに役立ちます。

ファブリックインターコネクタの Pmon プロセスを表示するには、次の操作を実行します。

- pmon プロセスの管理 : pmon またはコネクタプロセスのステータスを開始、停止、表示するには、**pmon** コマンドを使用します。

```
pmon { start | stop | state } [ connector ]
```

## テクニカルサポート

テクニカル サポート バンドルをフェッチするには、次の操作を実行します。

- テクニカルサポートの表示 : 特定のデバイスのテクニカルサポートバンドルの内容をダウンロードするには、**show tech-support** コマンドを使用します。

- **show tech-support server blade-id**
- **show tech-support chassis chassis-id**
- **show tech-support fex fex-id**
- **show tech-support switch switch-id**

## ディレクトリ操作

次のディレクトリ操作を実行できます。

- ディレクトリの変更 : ディレクトリを変更するには、**cd** コマンドを使用します。

```
cd { workspace:/ [path] | volatile:/ [path] | [path] | usbdrive1:/ | usbdrive2:/ }
```

- 現在のディレクトリを表示 : 現在の作業ディレクトリを表示するには、**pwd** コマンドを使用します。

```
pwd
```

- ディレクトリの内容の一覧表示 : 現在の作業ディレクトリの内容を一覧表示するには、**ls** コマンドを使用します。

```
ls
```

- ディレクトリの作成 : 許可されているディレクトリの下にディレクトリを作成するには、**mkdir** コマンドを使用します。

```
mkdir { workspace:/ [path] | volatile:/ [path] | [path] | usbdrive1:/ | usbdrive2:/ }
```

- ファイルの削除：ディレクトリからファイルを削除するには、**rmdir** コマンドを使用します。

```
rmdir { workspace:/ [path] | volatile:/ [path] | [path] | usbdrive1:/ | usbdrive2:/ }
```

- ファイルのコピー：あるディレクトリから別のディレクトリにファイルをコピーするには、**cp** コマンドを使用します。

```
cp [from-filesystem:] [from-path] filename [to-filesystem:] to-path [dest-filename]
```

- ファイルの移動：あるディレクトリから別のディレクトリにファイルを移動するには、**mv** コマンドを使用します。

```
mv [from-filesystem:] [from-path] filename [to-filesystem:] to-path [dest-filename]
```

- ファイルの削除：ディレクトリからファイルを削除するには、コマンドを使用します。

```
rm
```

```
rm { workspace:/ [path] | volatile:/ [path] | [path] | usbdrive1:/ | usbdrive2:/ }
```

## その他の操作

実行できるその他の操作は次のとおりです。

- secure-fpga のアクティブ化：ファブリック インターコネクでセキュアな Field-Programmable Gate Array (FPGA) を有効にするには、**activate secure-fpga** コマンドを使用します。

```
activate secure-fpga
```

- 管理 IP の設定：ファブリック インターコネクの管理 IP アドレス、ネットワークマスク、およびゲートウェイアドレスを設定するには、**set management-network** コマンドを使用します。

```
set management-network ip-address netmask/preix_length gateway
```

- 管理ログの表示：ファブリック インターコネクで実行されているサービスの管理ログを表示するには、**tail-mgmt-log** コマンドを使用します。

```
tail-mgmt-log module_name
```

- SSH を使用して接続する：SSH をサポートするホストにログインするには、**ssh** コマンドを使用します。

```
ssh host-name
```

- Telnet を使用して接続する：Telnet をサポートするホストにログインするには、**telnet** コマンドを使用します。

```
telnet host-name [port-num]
```

- IPv4 ネットワークルートの表示：IPv4 ネットワークホストへのルートを表示するには、**traceroute** コマンドを使用します。

```
traceroute [ -s source-address ] address
```

- IPv6 ネットワークルートの表示：IPv6 ネットワークホストへのルートを表示するには、**tracertoe6** コマンドを使用します。

**tracertoe6** [ **-s** *source-address* ] *address*

- ネットワーク接続の診断：IPv4 アドレスの基本的なネットワーク接続を診断するには、**ping** コマンドを使用します。

**ping** [ **-c** *count* ] [ **-s** *packet-size* ] [ **-i** *interval* ] [ **-w** *timeout* ] { *host-ip-address* | *host-name* }

- ネットワーク接続の診断：IPv6 アドレスの基本的なネットワーク接続を診断するには、**ping6** コマンドを使用します。

**ping6** [ **-c** *count* ] [ **-s** *packet-size* ] [ **-i** *interval* ] [ **-w** *timeout* ] { *host-ip-address* | *host-name* }

- リブート：システムをリブートするには、**reboot** コマンドを使用します。
- NX-OS への接続：NX-OS に接続するには、**connect nxos** コマンドを使用します。
- 設定の消去：ファブリック インターコネクトの設定を消去するには、**erase-configuration** コマンドを使用します。
- 管理者パスワードの変更：ファブリック インターコネクトの管理者パスワードを変更するには、**change-password** コマンドを使用します。
- SSH 公開キーのクリア：リモート ホストの SSH キーをキャッシュからくりあるには、**clear-sshkey** コマンドを使用します。

**clear-sshkey** *host-name*

- **change-domain-name** コマンドを使用して、ファブリック インターコネクトとピア FI の名前を更新します。
- **change-mode** コマンドを使用して、サーバーの管理可能なモードを変更します。
- **clear** コマンドを使用して画面をクリアします。
- **clear-firmware-cache** コマンドを使用して、Intersight ファームウェア キャッシュからエントリーをクリアします。
- 初期 HA セットアップでは、**cluster-start** コマンドを使用してクラスタ サーバーを起動します。



(注) これは、クラスタに FI を追加するときに内部的に使用されま  
す。

- **connect** コマンドを使用してエンドポイントに接続します。
- Intersight ファームウェア キャッシュ内のエントリーのリストを表示するには、**list-firmware-cache** コマンドを使用します。

- サーバの動作とその使用状況（`led-status power power-status led`）のリストを表示するには、**server** コマンドを使用します。
- ファブリック インターコネクトのデバイス管理パッケージを更新するには、**update-management-package** コマンドを使用します。



---

(注) お客様はパッケージにアクセスできません。この操作は、TACが回復の目的で使用します。

---

**update-management-package workspace:/ | volatile:/ filename**

- **help** コマンドはヘルプを表示します。
- **exit** コマンドを使用してプログラムを終了します。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。